

みんなで作る 安全・安心なまち

最近、連日のようにテレビや新聞で市民生活を脅かす事件が報じられています。犯罪のない平穏な暮らしは、すべての市民の切実な願いではないでしょうか。

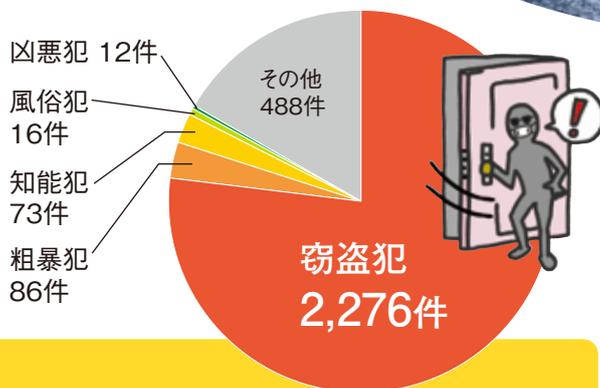
今回の特集では、地域と行政が手を携えて進めている安全・安心なまちづくりについて紹介します。



身近に潜む犯罪

犯罪は、私たちの身近なところに潜んでいます。四日市市内では、昨年1年間で、約3千件の刑法犯罪が発生しました。その内訳を見ると、空き巣や車上狙いなどの「窃盗犯」が全体の8割近くに上っています。

■ 市内における平成27年の刑法犯発生状況 (三重県警察提供)

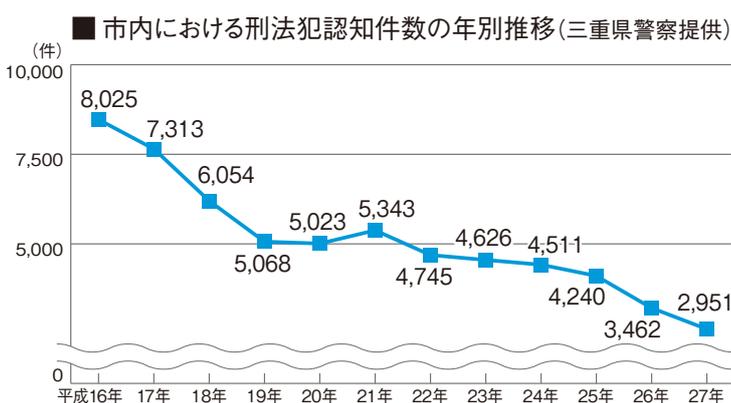


自分たちのまちは 自分たちで守る

地域と市、警察が連携 ～四日市市地域防犯協議会～

身近な犯罪を減らすためには、地域住民の力が不可欠です。「四日市市地域防犯協議会」は、地域の防犯活動団体と市、警察の三者が連携して地域主体の安全なまちづくりを推進するため平成16年7月に設立されました。

「自主防犯活動による地域コミュニティの輪・話・和」を合言葉に、隔月1回の実践的な会議により、団体間の情報交換・共有化が図られています。活動の効果は着実に表れており、会の発足以来、地域の犯罪件数は大きく減少しています。



みんなで情報共有し、活動の輪を広げていきたい

四日市市地域防犯協議会 会長 伊藤昭さん

会員は、さまざまな課題を抱えて日々の防犯活動に取り組んでいます。各地域の防犯情報の共有は課題解決に役立ちます。未加入の地域の皆さんもぜひご参加ください。

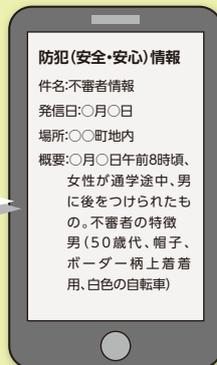


「防犯～安全・安心情報メール」をご利用ください

市では、警察が公表する情報などを元に、暮らしの防犯情報をメール配信しています。この機会にぜひご登録ください。

こんな情報を配信しています!

- ① 不審者情報
- ② 振り込め詐欺など
- ③ 空き巣被害情報
- ④ 防犯に関する啓発情報



登録は簡単です!

「四日市市防災メール」の登録画面から、「防犯(安全・安心)情報」を選択してください。



始めてみよう!防犯パトロール

住民による防犯パトロールが、市内で活発に行われています。防犯パトロールは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識があれば、誰でも参加できます。

パトロール時の心掛け

複数で

危険を避けるためにも、2人以上の複数で実施しましょう。多くの目で見ることにより、より多くの危険箇所を発見できます。

基本は徒歩で

街頭で犯罪被害に遭う人の多くは、徒歩または自転車です。同じ視点で見ることが、注意喚起に役立ちます。

声掛けを

犯罪を行おうとする者は、住民から挨拶されたり、声を掛けられたりすることを嫌います。「こんばんは」といった挨拶だけでも十分です。地域の皆さんが声を掛け合うことで、地域の連帯感が醸成されることにもつながります。



パトロールは継続が大事!気負わず、肩肘を張らず、日常生活の一部として気楽にやりましょう。

割れた窓理論

窓ガラスを一枚でも割られたままにしておくと、その地域全体が無防備だと思われて、犯罪が多発していくという考え方を「割れた窓理論」といいます。少しの異変も見逃さないという意識が、犯罪抑止に大きな力を発揮します。

割られた窓を放置



罪悪感が薄れる

他の窓も割られる



軽犯罪の温床に

やがて重大犯罪に



私たちのまちの安全パトロール

NPO法人 ニコニコ共和国 地域:橋北地区全域 会員:34人



理事長 高井 俊夫さん

子どもも高齢者も笑顔に

青色回転灯装備車両9台で昼夜パトロールし、子どもの下校時間に合わせた見守りにも力を入れています。「防犯」というと固い話になりがちですが、毎月開催している高齢者の集い「スマイルカフェ」の気軽な雰囲気の中で防犯講話を企画するなど、活動は「楽しく」を心掛けています。



「ランパト隊員」募集中! 区内でもジョギングをしている人を多く見かけます。そんな運動の際にもちょっとした防犯活動ができればと、ランニングパトロール隊、略して「ランパト隊」を結成しました。このランパトもそうですが、防犯活動は、無理をせずできる範囲で行うことが大切だと思っています。

UR笹川防犯・防災パトロール隊 地域:UR笹川団地 会員:50人



代表
キャン カストロ・アベル イサモさん

多文化共生のまちで 平成21年4月に住民が集まって不法投棄や違法駐車の見回りを始めたのがスタートです。メンバーには、外国人住民もいます。仕事が終わってからしか時間が取れない若いメンバーが多く、メンバーが参加しやすいよう、夜間パトロールは午後9時から実施しています。



活動の重点は夜間パトロール

活動のもう一つの効果 活動を始めてから、不法投棄は目に見えて減りました。また、地域で交流の機会が増えたことも大きな効果ですね。外国人住民も日本人住民も関係なく地域の課題を話し合うようになり、みんなで地域を良くしようという雰囲気ができてきました。街中でも「パトロールの人ですね」と声を掛けてもらえるようになり、住民間の距離が縮まってきていると感じています。



昼間は女性が中心の「えぶろん隊」が活動

四日市大学地域パトロール部 地域:あさけが丘など 部員:11人



左からこうべ光部達哉さん(2年生)、
水井玲央さん(2年生)、宮崎香奈さん(3年生)

挨拶をしながらまちをパトロール

「地域へ何か貢献できることはないか」という発足当時の先輩たちの思いが私たちに受け継がれ、活動は今年で7年目を迎えました。地域の人や他のボランティアの皆さんと協力し、行き交う人に声を掛けながら街をパトロールしています。



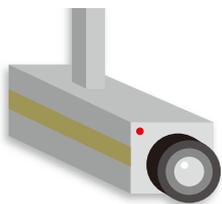
拍子木を
叩きながらの
パトロール



ごみ拾いのボランティア活動をしている
特定非営利活動法人グリーンバードとの
共同活動

地域と関わる喜び パトロールをしていると、地域の人に顔や名前を覚えていただき、小さい子どもから「四日市大学のパトロールの人だ」と声を掛けてもらうこともあります。皆さんに親しみを持って接してもらえることは、大きな喜びですね。私たちの活動が少しずつ地域で認知され、着実に定着していることを実感しています。

防犯カメラ設置の補助制度がスタート



防犯活動を補完するものとして、防犯カメラの設置も有効です。

市では、新たに「四日市市防犯カメラ設置」に係る補助制度を設け、平成27年度から運用を始めました。

補助の用件	犯罪の防止または抑止を目的に、道路や公園など公共の場所に設置するカメラなど
対象となる団体	自治会などの地域団体 商店街振興組合 など
対象となる経費・補助割合	設置費や賃貸借料の2分の1 (通学路に設置の場合は3分の2)

市の補助を受けて、通学路に新たに設置された防犯カメラ



客引き防止条例

中心市街地では こんな取り組みも

夜の中心市街地を歩くと、路上で客引きに声を掛けられ、不快な思いをしたことや不安を覚えたことはありませんか。

こうした市民や来街者に著しく不安を与え、迷惑を掛ける行為を防止することを目的とする「四日市市客引き行為等の防止に関する条例」が制定され、7月1日に施行されます。詳しくは、改めてお知らせしていきます。



商店街の防犯協議会の皆さんと市長、三重県警察などが参加し、昨年12月に実施された「年末特別パトロール」

さらに安全・安心なまちづくりに向けて ~これからは正念場~

安全で安心な暮らしの実現に向け、警察の治安活動や市の施策が進められる一方、「自分たちのまちは自分たちで守る」という市民の皆さんの自主防犯意識が高まりを見せています。近年の犯罪減少傾向は、市内各所で繰り広げられている防犯パトロールをはじめとした、皆さんの日々のたゆまぬ自主防犯活動のたまものと言えます。

しかし、この地道な努力を絶やしてしまえば、市内で再び犯罪が増えることにもなりかねません。今後さらに安全・安心なまちづくりを進めていく上では、市民と行政がお互いの特性を生かして協働することが不可欠と言えます。

みんなが安心して
暮らせるまちを
みんなで作って
いきたいね!

